

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター



高尾山のいきものたち

スミナガシ

(タテハチョウ科)



濃淡のある青緑色が輝く蝶。一見黒い蝶だが、翅の表面が、青や緑色が混ざる独特の色をしている。赤い口吻が目立つのも特徴。裏面は、暗褐色で白斑が目立つ。名前は、水中に墨を流して模様の変化を楽しむ「墨流し」に由来する。平地や山地の広葉樹林に生息し、溪流沿いに多い。通常、年2回成虫が発生し、東京付近では5月頃と8月頃に見られる。

飛翔は敏速で、日中、樹液や動物の糞、腐った果実などに集まり、地面で吸水をよく行う。雄は夕方に山頂や尾根に集まり、占有行動をとる習性がある。幼虫の食草は、アワブキ、ヤマビワなど。近年、植林や各種開発で個体数が減っているが、高尾山のような豊かな森林では今も見られる。

(写真・文 森林インストラクター 藤原 裕二)



NO.68

髓のある樹木(2)

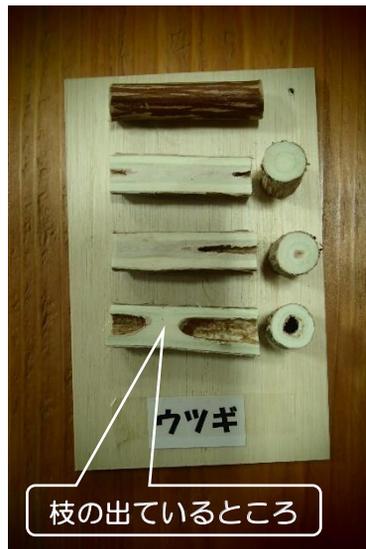
ウツギ
(アジサイ科)

ウツギは幹が中空であるためにつけられた名前である。しかし、幼木や枝の細いところは髓が入っている。成長するにしたがって、中空になってくる。しかし、幹の中すべてが中空だと外部からの力により折れたりしないのかと心配になる。幹を半分に切ってみると、葉の出ている部分についてはちゃんと節のようになっていて中空ではない。

昔は幹が木釘に加工されて利用されていた。そのため中空であっても強度はあるようだ。火起こし用の火切杵(ヒキリギネ)の交換用の先棒としては最適である。

ちなみに火切り板が摩擦により黒い粉が出て火種ができるのだが、その過程と温度変化については

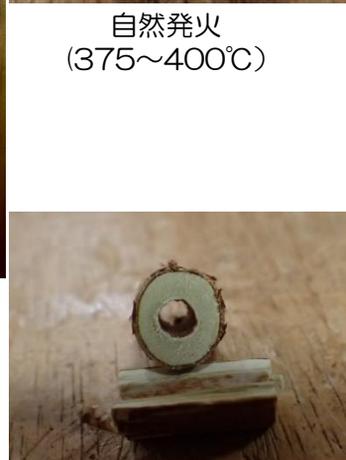
- ① うっすらと白い煙が立ち上がり始めるとき(温度は150度~200度)
- ② 白い煙が火切杵の回転にまとわりつくように出てくるとき(200度~250度)
- ③ 黒い粉がたまり、中心部に熱が蓄積しやがて自然発火する(375度~400度)
(富)



ウツギの髓



自然発火
(375~400℃)



中空の幹

公募イベント 森林カレッジⅡ

7月9日（土）、日影沢自然学習体験施設（炭焼施設）において、東京農業大学教授の宮林茂幸先生を講師にお迎えし、年4回の開催を予定している当センター主催の公募イベントの2回目「森林カレッジⅡ」を開催しました。

前日まで雨天続きで当日の天候が心配されましたが、晴れ間も見えるますますの天気となり、多くの受講生に参加していただきました。

午前中は、宮林先生から「森に学ぶ～森づくり ことづくり ひとづくり～」と題し、我が国の森林・林業の現状と問題点、農山村を巡る現況、森林の持つ多様な機能と役割、私たちの生活と森の位置づけ等の森林・林業の特徴について講義していただき、参加者の皆さんは真剣に聞き入っていました。特に森を含む農山村地域は、農林業の営みや協働作業を通じてたくさんのお話を学べることや、想像力を養うことができる、森は優れた「教育力」を持っているといったお話しは、森林環境教育に携わる者として目から鱗が落ちる思いであり大変印象に残るものでした。

午後は、まずは草刈り作業の体験です。鎌の研ぎ方を職員から教わり、安全な距離を保ちながら林道脇の草を刈る作業を行いました。夏の炎天下で行う下刈作業は、林業作業の中でも特に過酷な作業になりますが、その苦勞が少しでも理解いただけたのではと思います。

草刈り作業の後は、森林カレッジⅣにおいて予定している「炭焼体験（竹炭）」用の竹切り・竹割り作業を行いました。80cm程の長さに切り揃え専用の竹割器で割る作業ですが、皆さん初めての体験のようで楽しんで作業していただきました。

午後の一連の作業も無事終わり、皆さんに書いていただいたアンケートには、「森の効果、森を維持することの大切さを学びました」「子供たちを森に誘って森から多くのことを学んでいきたい」「森の働きについて考える良い機会となった」「山を歩くことはまた違う体験ができ、得がたいカレッジです」等々大変ありがたい感想ばかりで、有意義で充実した1日となりました。（瀬）



宮林先生の講義



鎌研ぎの講習



竹割り作業

編集後記

高尾も連日30℃を超える猛暑日が続いています。

高尾山へお出かけの際には、こまめな水分補給と休息で熱中症予防を心がけてください。



タマアジサイ

Forest通信 NO.402

発行：林野庁関東森林管理局
高尾森林ふれあい推進センター

ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問い合わせ先
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 042-663-6689 FAX 042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

